

10年ぶりの開催 油日の奴振

油日の「奴振」は5月1日、油日神社の例大祭において、「上野頭」により5年に一度奉納される行事であり、滋賀県選択無形民俗文化財となっています。

奴振は、頭殿と呼ばれる祭主に従う供の行列で、長持奴、鉄箱奴、毛槍奴などで構成される供連れの総勢100人以上が参加します。華やかな衣装をまとい、威勢の良い歌と独特の振付を披露しながら集落を口練り歩くのが特徴です。

この行事は、平安中期の天元年間(978~983)、勅使橋敏保の社参行列を起源とすると言われますが、その形は室町時代に整えられたと思われます。当時、油日地域を支配した甲賀侍衆が、祭りに際して自ら定めた祭主のもとに領民を動員して行列を組むという、きわめて政治性の高い侍層主体の祭りがその起源であったと考えられています。その伝統を受け継いだ江戸時代の甲賀侍衆の子孫によって奴行列が加えられ、現在のような形態になったとされます。さながら「動く由緒書」として機能していたとも考えられます。



▲油日神社に振り込む鉄箱奴、毛槍奴

なお、本来は現在の上野頭に加え、高野頭、相模頭、佐治頭、岩室頭の五頭が1年ごとに頭殿を出したと伝えられますが、明治初年ごろまでに廃止され、上野頭のみが現在に続いています。奴振が5年に1度のみ行われるのは、そうした歴史の経緯を反映したものです。

前回は新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となったため、今回は実に10年ぶりの開催となります。当日は奴振の開催にあわせ、隣接する甲賀歴史民俗資料館を無料開放(開館時間・10時~17時)します。この機会にぜひお越しください。

問 歴史文化財課 調査普及係 ☎ 69-2250 ☎ 69-2293

みんなで考える 公共施設

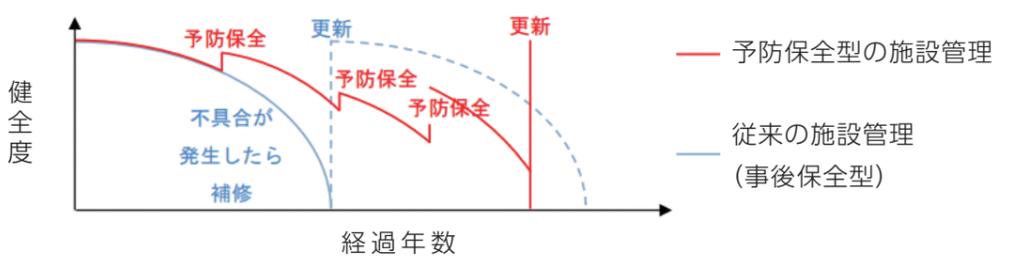
このコラムでは、市の公共施設のあり方とこれからについてみなさんにお伝えしていきます。

vol.6 取り組み方針③

施設の長寿命化を進めていきます

市の多くの公共施設は老朽化が進んでおり、今後、改修・建替費用の集中が見込まれます。このような状況を受け、市では「予防保全型施設管理」という方針を掲げ、定期的な点検・修繕によって施設の寿命を延ばすとともに、計画的な管理で建替時期を分散させ、年度ごとの改修・更新費用を可能な限り均等にしていきます。

予防保全型施設管理のイメージ



これまでの記事はこちら

問 行政改革課 行政改革係 ☎ 69-2119 ☎ 63-4554

地域共生社会の芽吹き

20年後の社会は、地域における支え合いの基盤であった地縁・血縁・社縁といった繋がりが弱くなると言われています。このコラムではそんな未来を見据え、地域の困りごとを住民主体で受け止めていく「芽吹き」とも言える活動を紹介いたします。

社会福祉法人主体の防災訓練

昨年11月、甲賀荘デイサービスセンター((社福)甲賀会)で、台風による激甚災害を想定した福祉避難所の防災訓練が行われました。地域住民(要介護高齢者と家族)、市内の社会福祉法人(6法人)、行政が参加し、自助・共助・公助の「三助」を意識した実践に近い訓練となりました。



防災訓練の様子は動画でチェック!

活動のきっかけ

自力で避難することが難しい方を守るため、「個別避難計画」を作成しています。今回、地域の実情や個々の状況に合わせた実効性の高い避難支援体制づくりにつなげたいとの思いから、この訓練を実施されました。

未来をつくる活動

地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人の公益的な取り組みとして、災害時に備えた地域づくりは重要テーマです。訓練後の振り返りでは、「ひとつの事業所で抱え込まないことが大切」という気づきを皆で共有しました。これからも社会福祉法人のネットワークを活かして、高齢者や障がい者を含む全ての住民が円滑に避難できる体制づくりに取り組んでいきます。



▲避難者の受け入れ時の様子

問 地域共生社会推進課 地域共生社会推進係 ☎ 69-2155 / 市民活動推進課 市民活動推進係 ☎ 69-2218